

Vol.182

令和7年度8月号

今年のはすの開花状況は、6月上旬の増水の影響で生育・開花が遅れましたが、回復が進みつつあります。

トヨタグループの皆さんによる環境保全活動が行われました

ラムサール条約登録40周年を記念して、6月28日、トヨタグループ各社（トヨタ自動車東日本(株)、豊田合成東日本(株)、トヨタ紡織東北(株)、アイシン高丘東北(株)、トヨタバッテリー(株)、ダイハツ工業(株)）より、社員とそのご家族を含む約160名が参加し、水生植物園にて環境保全活動を実施しました。

当日は、伊豆沼・内沼に生育する希少植物であるカキツバタやアシカキの移植作業や、胴長を着用し沼に入っの外来魚駆除、網を用いた魚・エビの捕獲体験などを通して、自然とのふれあいを深めていただきました。

トヨタグループの中には、10年以上にわたり本活動に継続してご協力いただいている会社もあり、活動の場としてお選びいただいたことに感謝しながら、充実した活動になるようサポートしてまいります。



サンクチュアリセンター内で行われた開会式。参加者約160名が勢ぞろいし記念撮影



胴長を履いて伊豆沼の沼歩きを体験し、三角網で捕れた魚を観察



水路を拡張した後、株分けをしたカキツバタを植栽



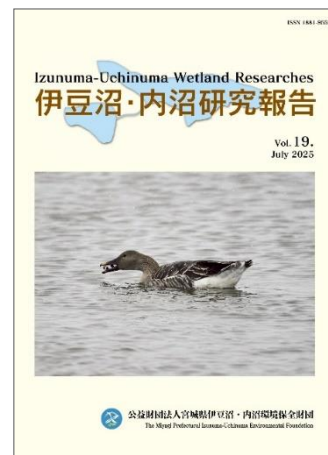
水生昆虫の生息場所となるアシカキの群落を増やすため、池の水際に移植

「伊豆沼・内沼研究報告」19巻が発行されました。北海道から宮崎県にいたる全国各地から、魚類や鳥類、両生類などに関する9本の論文を収録しています。伊豆沼の枠を超えて全国から論文が集まり、湿地研究に関する学術論文集として全国的に注目されています。

すべての論文は下記のリンクからご覧いただけます。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/izu/list/-char/ja>

J-STAGEへは、こちらのQRコードから



自然体験講座（第1回～第3回）を開催しました



第1回 伊豆沼水辺探検隊



第2回 水辺の生き物採集と観察会



第3回 昆虫採集と標本作り

自然体験講座の詳細は、
こちらのQRコードから
ホームページ
にアクセスし
てください。

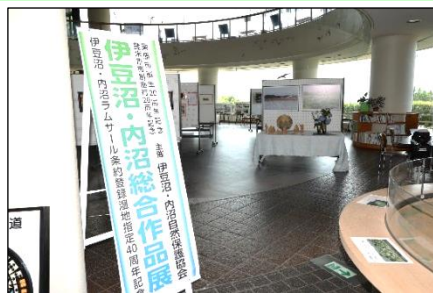


本年度の自然体験講座は、ラムサール条約登録40周年を記念した特別プログラムを加えて開催しており、7月26日までに第1回から第3回までの講座を開催しました。

参加した多くの親子は、伊豆沼の浅瀬や水生植物園などで伊豆沼の自然と直にふれあい、魚や昆虫を採取し楽しく観察していました。また、参加者には記念の参加証やオリジナルの缶バッジが贈られました。

今後は1月までにあと7回の自然体験講座を予定しています。詳しくは、ホームページでご確認ください。

伊豆沼・内沼総合作品展が開催されました



伊豆沼・内沼自然保護協会主催の総合作品展が、7月1日から27日まで宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターで開催されました。ラムサール条約登録40周年を記念して開催されたこの作品展では、伊豆沼・内沼をテーマとした写真や絵画をはじめ、工芸品や短歌・俳句など多くの作品が展示され、訪れた見学者でにぎわいを見せておりました。

愛鳥週間用ポスター原画コンクール 宮城県入賞作品を展示

宮城県では、自然環境の保全及び野生鳥類保護思想の高揚を図ること等を目的に、毎年愛鳥週間（5月10日から16日まで）にちなんだポスター原画コンクールを実施しています。このコンクールの入賞作品を、今年も次のとおり展示します。皆様のご来館をお待ちしています。

会場 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター（鳥館）1階

期間 8月1日（金）～8月28日（木）

8月12日（火）特別開館のお知らせ

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターは、休館日の8月12日（火）については休まず開館いたします。



〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
指定管理者 （公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel0228-33-2216 Fax0228-33-2217
ホームページ:<http://izunuma.org/>
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp

